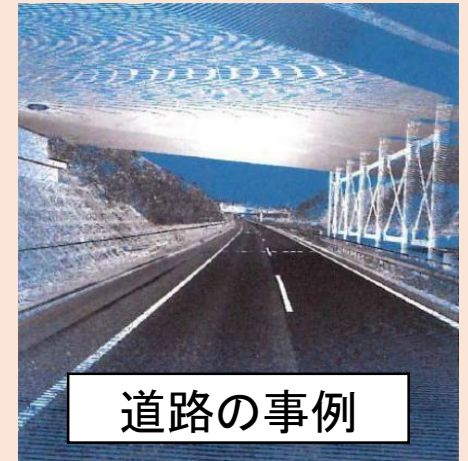


3次元点群データ取得・更新に向けた 補助制度の拡充について

3次元点群データとは・・・

- ・ドローンなどにより地形や構造物の形状を立体的に測量し、データ化するもの

- ・写真に見えるが、実際は3次元の位置情報を持った膨大な点の集まり



道路の事例



静岡県掛川市の事例

1 提案の背景

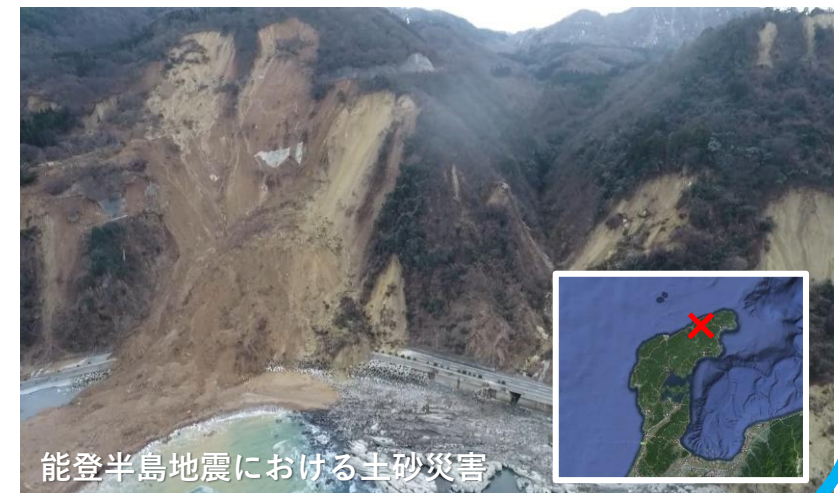
インフラ施設の老朽化が進む中、適切な維持管理が求められている。

近年、激甚化・頻発化する風水害や、大規模地震への迅速な対応が必要。

人口やインフラが集積する九都県市において
国民の生命・財産を守り、社会・経済活動を維持していくためには…



- ✓ インフラ施設の維持管理の効率化
 - ✓ 災害時における復旧対応の迅速化
- が重要。

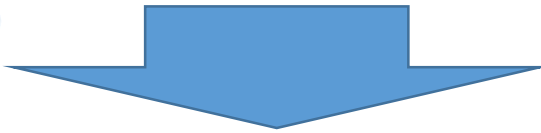


能登半島地震における土砂災害

2 現状と課題-①

インフラ施設の維持管理の効率化や 災害時における復旧対応の迅速化には…

定期的にインフラ施設
を監視



被災状況をいち早く
把握



3次元点群データの活用が有効

2 現状と課題-②

3 次元点群データの活用により

- ・ インフラ施設の経年劣化等による状況変化を監視することができ、異常の早期発見が可能
- ・ 被災前に取得した点群データに被災後のデータを重ね合わせることで、崩落した土の量などを素早く把握ができ、復旧工法検討の時間削減が可能

活用例 1

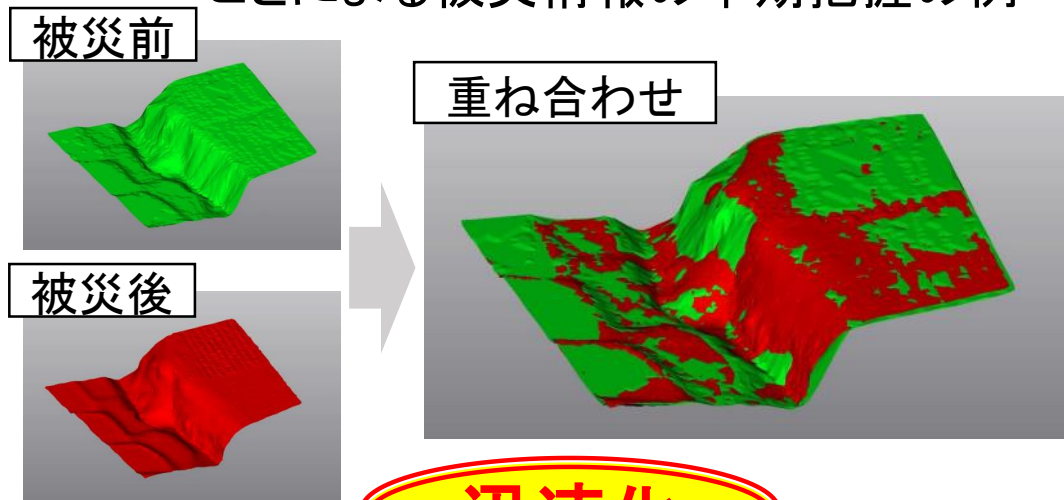
データの定期的な取得による
トンネルの変状監視の例



効率化

活用例 2

被災前後のデータを重ね合わせる
ことによる被災情報の早期把握の例



迅速化

2 現状と課題-③

予め平時のデータを取得しておく必要があるが・・・

道路・河川といった膨大な量の
インフラ施設についてデータ
取得・更新が必要



災害に備えるため、可能な限り
早期にデータ取得が必要



データの取得や更新に係る負担が大きい

しかし・・・

現在の国の補助制度では、既存のインフラ施設を対象とする
3次元点群データの取得・更新に対する補助がないことか
らデータの取得・更新が進んでいない



3次元点群データの取得・更新に対する国の財政支援が不可欠

3 提案内容

インフラ施設等の維持管理の高度化・効率化や、災害対応の迅速化を図るために実施する

**3次元点群データの取得・更新に対する
国庫補助制度を拡充すること。**